



2020年6月期 第1四半期  
決算補足資料

すまいと暮らしの<sup>コレカラ</sup>“未来”を創る



2019年11月11日  
日本リビング保証株式会社  
東証マザーズ:7320

どのような  
会社か

## 「住宅・不動産領域の アフターサービスプラットフォーム」

当社は、クライアントとオーナーを繋ぐプラットフォームの提供を通じ、  
オーナーには「利便性・安心安全」を、  
クライアントには「業務効率・ビジネスチャンス」を創造します

業績は  
どうだったか

## 「過去最高の四半期業績を達成」

売上高 : 4.86億 (進捗率 26.3%)  
経常利益: 1.21億 (進捗率 50.4%)

その他  
トピックス

## 「リアルサービス拠点の新設」

検査点検やメンテナンス工事などリアルサービスの拡充に伴い、  
今期中に大阪・名古屋・福岡にサービスセンターを新設予定

第1四半期は各業績項目において過去最高となり、通期予想に対しても順調な進捗

	今期 第1四半期 (2019.7~2019.9)			通期 業績予想 (2019.7~2020.6)
	過去最高	YoY	通期予想に対する進捗率	
売上高	486 百万円	132.4%	26.3%	1,850 百万円
営業利益	96 百万円	151.6%	50.0%	192 百万円
経常利益	121 百万円	178.4%	50.4%	242 百万円
当期純利益	81 百万円	167.2%	51.7%	158 百万円

主要業績の主な状況および要因は以下の通り

売上高

長期保証契約の獲得、BPO大型案件受注により順調に進捗

営業利益

採用・オフィス移転等の遅延が上振れ要因

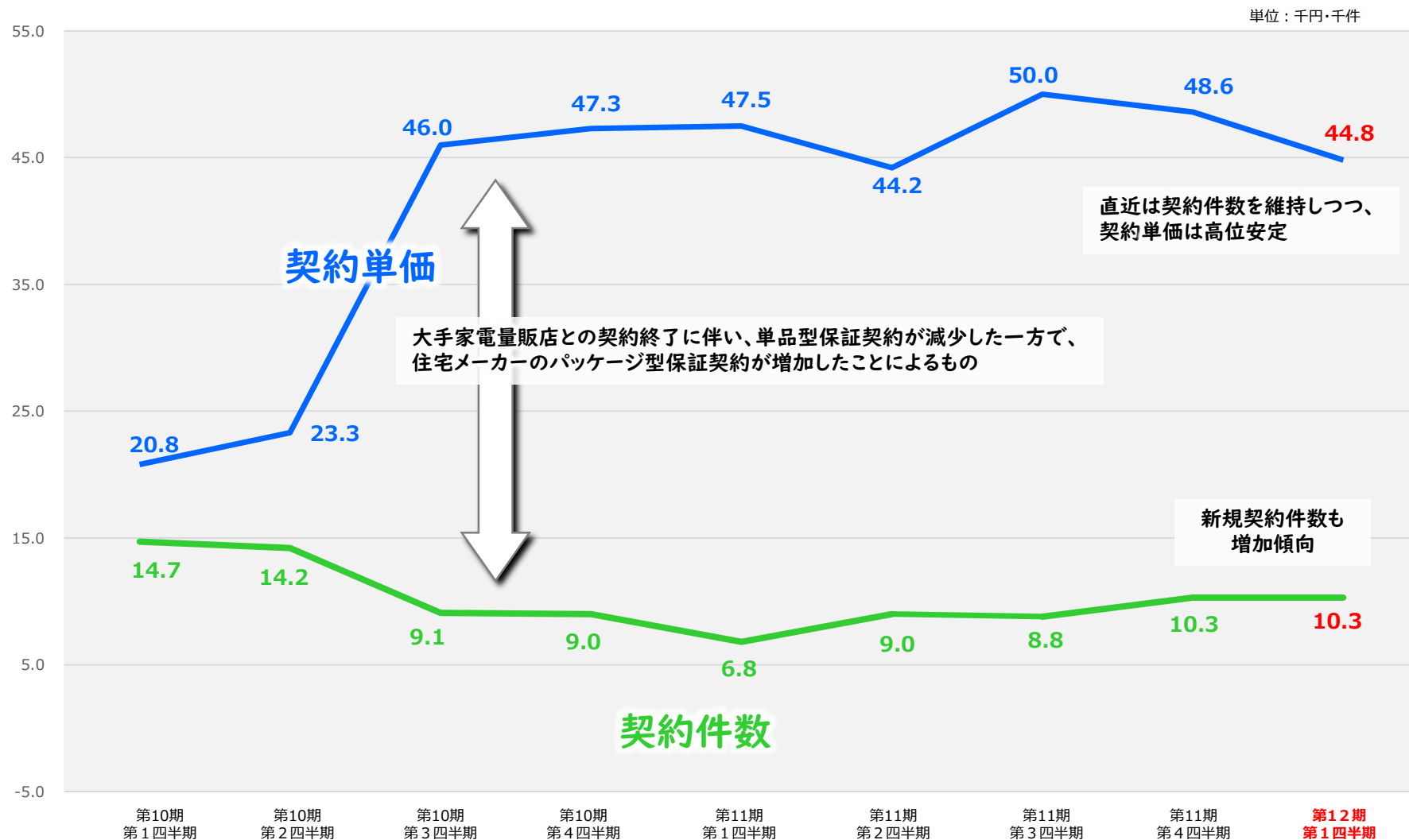
経常利益

資産運用(金融商品・不動産)が順調に進展

各事業セグメントについても、過去最高の売上高・営業利益を達成

		今期 第1四半期 (2019.7~2019.9)	YoY			今期 第1四半期 (2019.7~2019.9)	YoY
売上高		486 百万円	132.4%	営業利益		96 百万円	151.6%
	おうちの トータル メンテナンス 事業	321 百万円	119.5%		おうちの トータル メンテナンス 事業	35 百万円	250.0%
	BPO事業	165 百万円	167.4%		BPO事業	60 百万円	122.7%

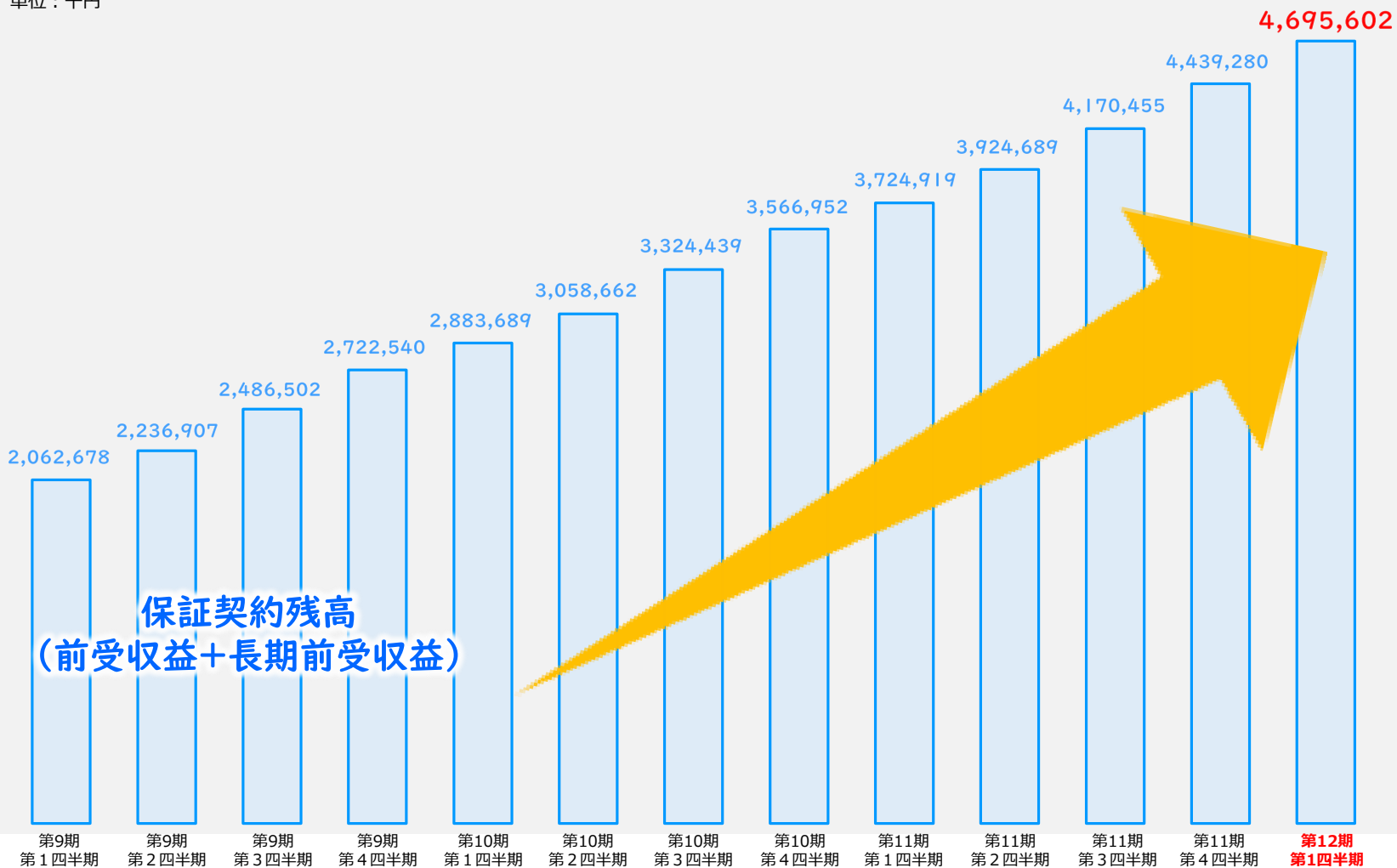
# 保証サービス 新規獲得 (契約単価・契約件数) の推移



# 保証契約残高（前受収益・長期前受収益残高）の推移

長期保証契約の着実な獲得により、安定的な収益構造の基礎となる  
保証契約残高（前受収益および長期前受収益残高）は順調に増加し、第1四半期末で46億円超

単位：千円



# 2020年6月期（2019.7~2020.6）連結業績予想

長期保証契約に関するストック売上の下支えがさらに増大することを踏まえ、  
前期比で増収増益・過去最高益を予想

	第2四半期予想 (2019.7~2019.12)	通期業績予想 (2019.7~2020.6)	YoY	
			増減額 百万円	増減率
売上高	883 百万円	1,850 百万円	+203 百万円	112.3%
営業利益	117 百万円	192 百万円	+12 百万円	106.2%
経常利益	144 百万円	242 百万円	+29 百万円	113.7%
当期純利益	94 百万円	158 百万円	+15 百万円	110.5%

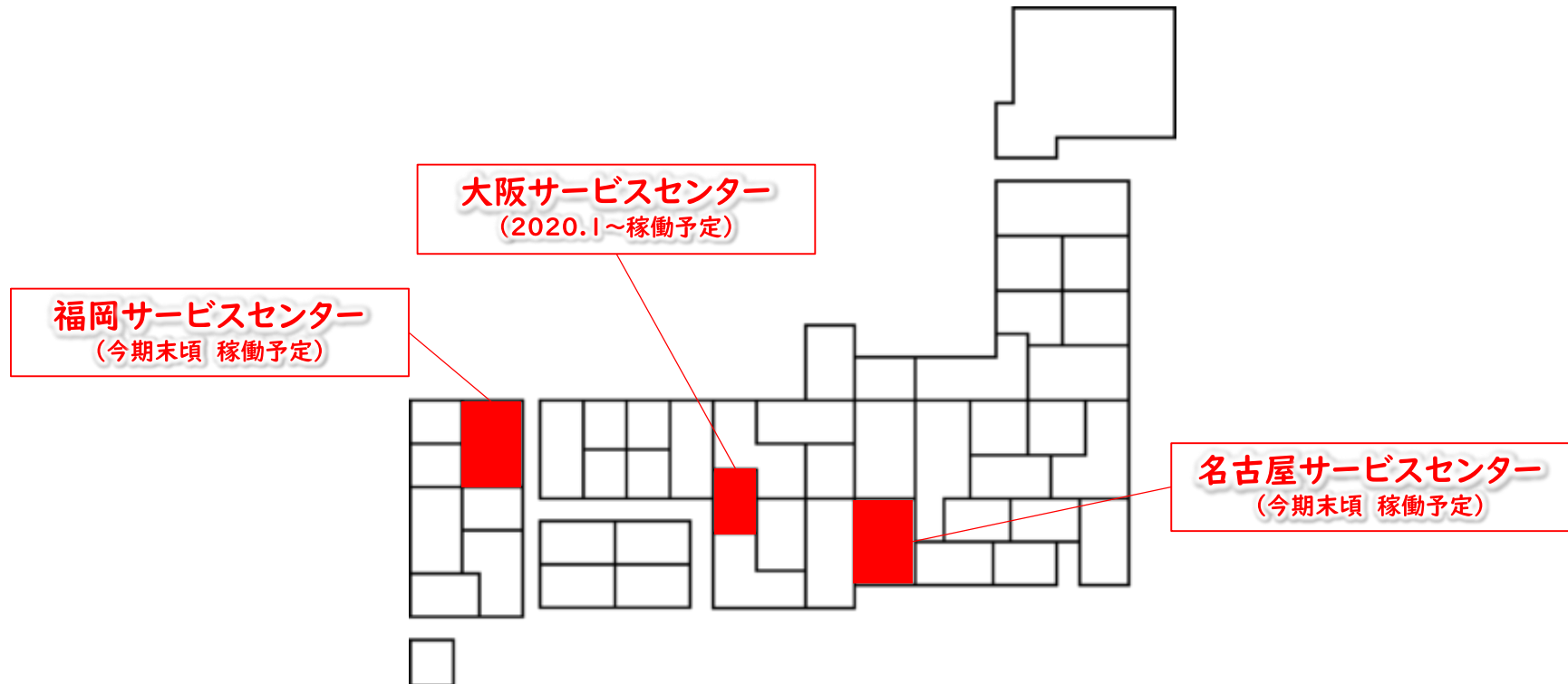


## リアルサービス拠点の新設

新サービス「再顧客化機能付きメンテナンスサポートデスク」を通じた、検査点検やメンテナンス工事の提供体制の充実を図る観点からサービスセンターの新設を推進し、今期中に3拠点の稼働開始を予定

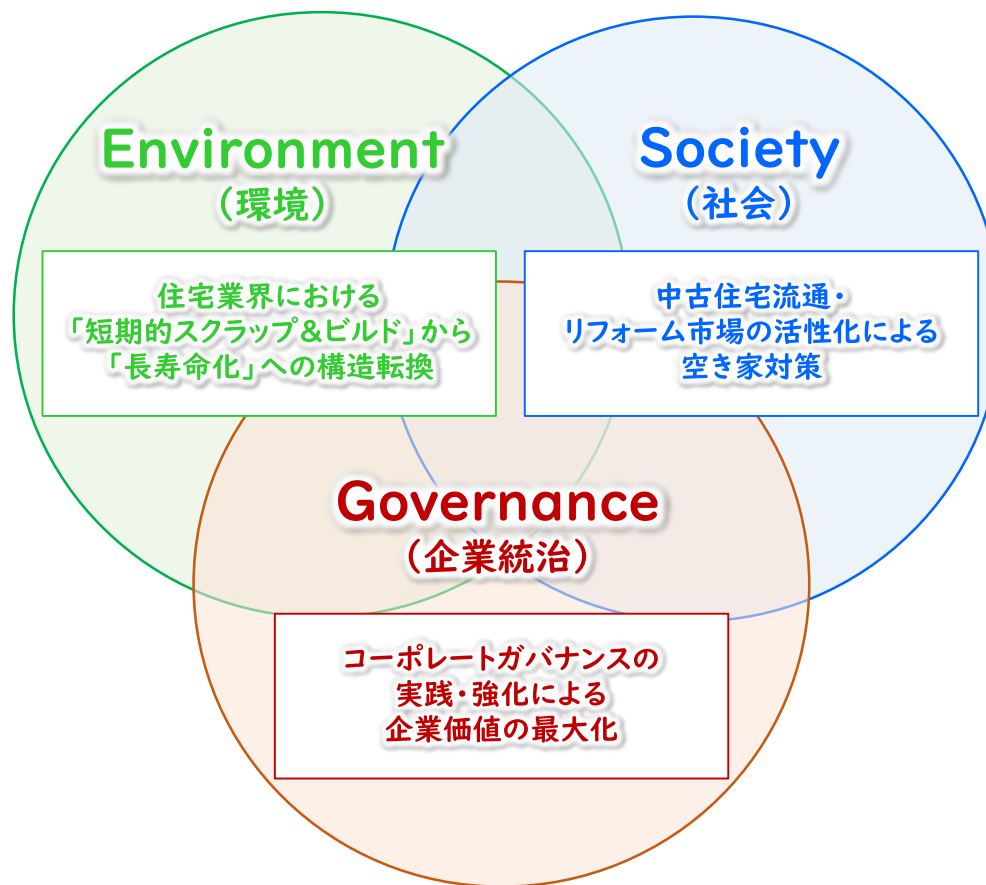
受託事業のみならず、「メンテナンス難民※」向けのマーケティングを通じた収益モデルの確立を目指す

※ 住宅事業者が提供するアフターサービスを受けられず、住宅に関する不具合・故障時の依頼先がない住宅オーナー



## 「100年の価値を、すべての住まいに。」

「良いモノを、永く使う文化をこの国に根付かせたい」その思いから、住宅設備の延長保証を開発し、私たちのビジネスはスタートしました。  
2019年で創業10周年。その思いをさらに昇華させ、検査点検・補修・電子マネー（ポイント）を組み合わせた独自のソリューションで、持続可能な社会の実現の一翼を担いたい、それがわたしたちの願いです。



本発表において提供される資料ならびに情報は、将来の見通しに関する情報を含みます。

これらは、現在における入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際には、これらの記述とは異なる結果を招き得る可能性や確実性を含んでおります。

それらの可能性や不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる将来の見通しに関する情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

すまいと暮らしの<sup>コレカラ</sup>“未来”を創る



2019年11月11日  
日本リビング保証株式会社  
東証マザーズ:7320